

コミュニティ協議会広報誌



No.16号

発行人：熊倉宗衛
新潟市江口3220-1
平成26年7月発行

二十五年決算

コミュニティ協議会の決算総会が四月三十日に開催され、二十五年の事業報告と決算が承認されました。予算総会は五月三十日に開催され、二十六年の事業計画と予算案を決定しました。また、役員の改選が行われ、三役及び会計等の選任が行われ原案通り承認されました。

収 入

項 目	決算額	説 明
繰 越 金	308,598	前年度繰越金
市 助 成 金	252,090	古紙収集活動支援金
市 助 成 金	499,000	運営費 200,000 地域活動費 299,000
会 費 等	88,989	決算会費、預金利息等
合 計	1,148,677	

支 出

項 目	決算額	説 明
運 営 費	413,208	物品購入・印刷製本他 273,083 食糧費・旅費等 140,125
事 業 費	469,519	縄文市開催事業 268,945 講演会の開催 80,774 夏っこひろば 44,000 各団体事業助成他 75,800
合 計	882,727	
繰越金 収入 1,148,677 - 支出 882,727 = 265,950		

監 会 事 務 局 副 会 長
事 計 長 事 務 局 長 会 長

二十六年役員

白 藤 大 星 山 星 熊
川 田 沢 山 崎 山 倉
進 男 助 男 明 男 衛

収 入

項 目	予算額	説 明
繰 越 金	265,950	前年度繰越金
市 助 成 金	250,000	古紙収集支援金
市 助 成 金	558,000	運営費助成金 200,000 地域活動補助金 358,000
会 費 等	81,050	決算会費他
合 計	1,155,000	

支 出

項 目	予算額	説 明
運 営 費	397,000	物品購入印刷費他
事 業 費	670,000	夏っ子ひろば事業 44,000 おはよう朝ごはん講習会 76,000 縄文市開催事業 250,000 見守りマップ用図面作成 50,000 各部会活動支援金 250,000 (地域の茶の間、ビジョン作成、拠点施設調査等)
予 備 費	88,000	
合 計	1,155,000	

二十六年予算

26年度事業計画

事業実施の方針

- 1 コミ協の活動拠点施設の建設について引き続き、要望活動を展開していく。
- 2 地域包括支援システムの実現に向けて調査・検討を進める。その一環として高齢者の見守りマップの作成に取り組む。
- 3 大江山地区ビジョンづくりに寄せられた意見要望を基本にして、課題問題点の抽出・手順等の検討を進める。
- 4 各部会の行う研修会などの事業支援を行う。

主な年間スケジュール

- 4月 (地域の茶の間事業) 4月から翌年3月まで大淵荘、大江山荘で開催する。
- 5月 合同部会、理事会、総会で部会の活動方針、役員の改選、25年度事業・決算報告及び26年度事業計画・予算の審議
- 7月 (総務・バス部会) 広報誌の発行
- 8月 (教育文化部会) 夏っこひろばの開催
- 9月 (教育文化部会) おはよう朝ごはん料理講習会 (丸山小学校区)
- 10月 大江山縄文市の開催
- 11月 (地域づくり部会) 大江山文化とスポーツの祭典

大江山地区住民バスの補助金実績について (報告)

大江山地区には、現在3路線のバスが運行されています。

この運行路線の収支率に応じて、大江山地区バス運営委員会に市から補助金が支払われています。

25年度の補助金の実績は次に示す通りです。

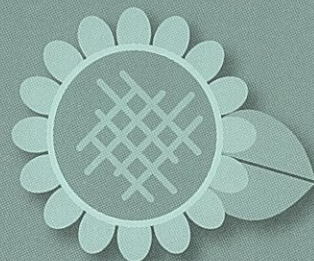
●一日市経由	新潟～一日市～大江山連絡所	880,433円(収支率79%)
●東明経由	新潟～東明～大江山連絡所	655,468円(収支率57%)
●鶴ノ子経由	駅南口～鶴ノ子～大江山連絡所	4,517,778円(収支率55%)

このように多額の補助金が投入されていますが、収支率が30%を割るようだと地域の負担が増えます。バス利用に協力くださるようお願いします。

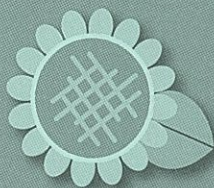
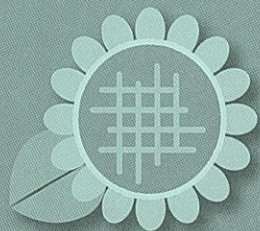
(総務・バス運営部会)

大江山のお茶の間の様子

今年で7年目を迎えました。大勢参加し、みなさん楽しんでいます。



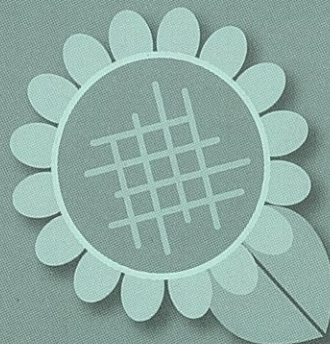
水都家艶笑さんの
落語口演



目帰り旅行
温泉地で
休憩



目帰り旅行
乙宝寺の参拝



地域包括ケアシステム講演会の開催

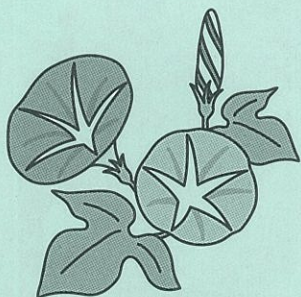


「大江山地区におけるケアシステムのありかた検討会」主催により、椿田病院院長椿田正信先生の講演会が今年の二月二十八日に大江山改善センターで開催されました。長年にわたり大江山地区で地域医療を続けてこられた先生の「地域に寄せる思い」と題した講演会場に

は、募集定員の二倍を超える一二六名の参加者で満席となり、みなさん熱心に聞き入っていました。

これからは誰もが安心して住み慣れた地域で生活が継続できるように、「医療・介護予防・生活支援・住まい」が一体的に提供されるシステム作りが大きな課題となっています。

この講演会をきっかけとしてみんなでこの課題に取り組んでいくことが求められています。



○大江山コミ協活動の原資となっているのが、地域活動補助金・運営費補助金・古紙行政収集活動支援金です。

○古紙行政収集活動支援金は、毎月第二、四金曜日に行われている古紙類の収集に対してトン当たり三円の支援金が支払われるものでコミ協の貴重な財源となっています。古紙類の資源回収にご協力をお願いします。

○昨年暮から今年にかけて行われた大江山地区のビジョンまちづくり計画への意見聴取には多くの意見が寄せられました。

これらの意見要望を基本にして今年度は次の事項について取組む予定であります。

①見守りマップの作成を行う。

②ビジョンづくりの課題・問題点・作成手順などの検討を進める。